

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人幸知会 トータスジュニア自治医大			
○保護者評価実施期間	令和 8年 2月 15日		～	令和 8年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	41名	(回答者数)	32名
○従業者評価実施期間	令和 8年 2月 15日		～	令和 8年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 1日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	「日課」と呼んでいる、学習と運動メインのプログラム	プログラムの導入当初からの研修、指導者育成	成長したと実感していただけるような支援を行うために、指導者育成をより行っていきたい。
2	お子様の課題に合わせて、机上課題等の設定が行われている	教材作成の工夫、実施後の職員間評価、変更	実施時の主体性、自己管理等の徹底、学校での学習進度の把握
3	集団を意識した行動ができるような支援	学習、運動、生活の多方面から集団を意識して取り組めるような組織編制、個別時の指導	集団を意識しつつ、自主性を養えるような意識改善、指導改善

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員役割明確化による臨機応変な行動の減少	お子様の活動円滑化を図るために、細かな部分で役割分担を実施したが、担当外である役割に対するの価値観等のずれ、対応の遅れがみられる。	役割を決めつつも、他の担当についても臨機応変に対応できるよう職員間で把握、意識改善を行う。
2	決まりやルールの明確化、細分化による職員間での把握漏れ、共有不足	職員等の入れ替えによりルールの根柢について把握が薄れてきている。	都度、ルールについて確認、環境やお子様の様子と照らし合わせ、現在の状況にあっていものが確認していく。
3	活動中のお子様の自主性が乏しい	活動を行うにあたって、取り組み方の徹底に伴い、お子様の自主的な機会も制限されやすい傾向にあると考えられる。	環境やお子様の様子と照らし合わせ、現在の状況を含め確認、検討していく。